

授業科目名		旅客実習Ⅱ													
学科・コース		国際エアライン科／グランドスタッフコース													
担当教員		今井 美佳													
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位			
実技				2		通年		必修		60		2			
授業目的 到達目標		1年次に学んだ基礎を踏まえ、更に専門的なイレギュラー対応、クレーム対応などを学びます。様々なシチュエーションに臨機応変に対応できるマインドとホスピタリティの育成を目標とします。コース外連携授業や館外講座を通し、実践力・対応力を身につけます。													
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド	
アクティブ ラーニング		事前学習型授業		○		反転授業				調査授業				フィールドワーク	
		双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ	
		プレゼンテーション		○		PBL				模擬授業				その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略								わかる目標・できる目標					
	1～4	敬語と接遇用語、内線外線対応								① 美しい身だしなみ、所作で、正しい敬語や接遇用語を習得する。 ② 突然起こりうるイレギュラーな場面での初期対応ができる。 ③ 仲間同士で協力し顧客満足を高める為のマインドを習得する。 ④ お客様への説明力、表現力を高めワンランク上の接客対応を習得する。 ⑤ 授業内外でのオンとオフの切り替えができる。 ⑥ 館外講座を通して企画力、発信力を習得する。					
	5～12	手荷物破損他イレギュラー時における初期対応													
	13～14	前期試験													
	15～26	コース連携合同実習													
	27～38	学外連携合同実習（ま・あ・る館外講座）													
	39～50	学外連携合同実習（高齢者施設訪問）													
	51～54	CSについて													
	55～58	総復習													
	59～60	レポート作成													
成績評価方法		【前】・期末試験60%、ロールプレイ30%、出席率・授業態度10% 【後】・ロールプレイ60%、レポート提出30%、出席率・授業態度10%													
使用テキスト／教材		旅客実習テキスト、講師作成資料													
関連科目		旅客実習Ⅰ、航空基礎知識、グランドハンドリング概論													
その他		アピアランスを整えて授業に参加すること。制服・スカーフ着用のこと。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。													

2025 年度

授業科目名		TIM II													
学科・コース		国際エアライン科／グランドスタッフコース													
担当教員		中西 裕子													
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位			
講義		・ 演習		2		通年		必修		30		2			
授業目的 到達目標		1年次に学んだ「TIMATIC」の読み取りを瞬時にできる速読力を身に付けることを目標とします。さらに、搭乗カウンター業務のロールプレイで、実際に「TIMATIC」を用いて規則を読み取り、お客様へのスムーズな搭乗手続き案内のスキルを身に付けることを目指します。													
授業手法		・ 対面		○		・ 遠隔				・ 対面/遠隔			・ オンデマンド		
アクティブ ラーニング		事前学習型授業		○		反転授業				調査授業				フィールドワーク	
		双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク				ロールプレイ	○
		プレゼンテーション				PBL				模擬授業				その他	
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略								わかる目標・できる目標					
	1～4	1年の復習：国籍・行き先は教員が適宜選択								①乗り継ぎ先の入国のルールがわかる ②お客様案内に必要な箇所のルールのみ即座に読み取ることができる ③滞在可能期間と査証の有効期限の読み取りが即座にできる ④チェックインに必要な条件の説明ができる ⑤入国できない場合の説明ができる ⑥TIMATICを読みながら、お客様案内が同時にできる ⑦自然な流れでチェックインロールプレイができる。					
	5～8	乗り継ぎのあるTIMATICの読み取り													
	9～12	滞在可能期間と査証の有効期限の読み取り													
	13～16	お客様へのルールの案内方法													
	17～18	前期筆記試験													
	19～22	パスポートチェックとTIMATICの読み取り・お客様案内演習													
	23～26	チェックインロールプレイ演習													
	27～30	チェックインロールプレイ試験													
成績評価方法		期末筆記試験 40%、ロールプレイ40%、平常点20%（出席率、授業態度）													
使用テキスト ／教材		TIMATIC例文、教員作成プリント													
関連科目		TIM I													
その他		※実務経験のある教員が担当する科目である。 ・英和辞書を必ず持参すること。													

授業科目名		プレゼンテーション															
学科・コース		国際エアライン科／グランドスタッフコース															
担当教員		小尾 純子															
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位					
演習		・実技		2		通年		必修		30		1					
授業目的 到達目標		仕事の報連相の基本である聞く力と伝わる話し方を身につけることを目指します。															
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		○		反転授業				調査授業				フィールドワーク				
	双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ		○		
	プレゼンテーション		○		PBL				模擬授業				その他				
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標						
	1～2		話すこと聞くことの重要性								① 聞き流さない聞き方ができる。 ② 反応力を身につける。 ③ 論理的に考えられる。 ④ 筋道を立てて話せる。 ⑤ 伝わる話し方を身につける。 ⑥ 必要な資料を探すことができる。 ⑦ ディベートの意義を理解する。 ⑧ ディベートの流れを理解し試合ができる。						
	3～4		ディベート入門 1														
	5～6		ディベート入門 2														
	7～8		シナリオディベート														
	9～10		フローシートディベート/ブレインストーミング														
	11～12		練習ディベート準備と実施														
	13～14		練習ディベート振り返りと試合ディベートの準備														
	15 ～16		資料の収集と立論の組み立て														
	17～18		資料の収集と反駁														
	19～20		反駁と尋問														
	21～22		試合ディベート														
	23～28		伝わる話し方														
	29～30		プレゼンテーション														
成績評価方法		出欠席60%、取り組み姿勢（宿題など提出物含）40%															
使用テキスト ／教材		大学生のためのディベート入門 ナカニシヤ出版・講師作成プリント															
関連科目		面接対応															
その他		配布プリントは毎回持参すること。録音のために各自のスマホを使います。															

シラバス（授業概要） 2025 年度

2025 年度

授業科目名		航空予約システム演習Ⅱ												
学科・コース		国際エアライン科／グランドスタッフコース												
担当教員		中西 裕子												
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位		
実習				2		通年		必修		30		1		
授業目的 到達目標		1年次に学んだ基本的な予約作成から、運賃計算やSpecial Service Request、Other Service Information等の 応用スキルを習得し、実践的に使える操作力を身に付けることを目標とします。9月にはアマデウス検定、 Amadeus Reservation Fundamentals 合格を目指します。												
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業				反転授業				調査授業				フィールドワーク	
	双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク				ロールプレイ	
	プレゼンテーション				PBL				模擬授業				その他	
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標			
	1～2		1年次の復習								①正確なPNRを作成することができる ②迅速にPNRを作成することができる ③Special Service Requestを理解することができる ④SSRを正確に入力することができる ⑤PNRの各項目の修正ができる ⑥キャンセルの手順を理解して実行できる ⑦検定試験問題を時間内に解くことができる ⑧ロールプレイ形式でお客様の対応をしながら予約を作成することができる			
	3～4		(SSR)Special Service Request (フリークエントフライヤープログラム)											
	5～6		(SSR)Special Service Request (スペシャルミール)											
	7～8		(SSR)Special Service Request (シートリクエスト)											
	9～10		(OSI)Other Service Information											
	11～14		PNR項目のキャンセル・修正											
	15～16		前期評価											
	17～24		検定対策、模擬試験											
	25～28		予約作成応用 (お客様対応)											
	29～30		後期評価											
成績評価方法		【前期】 期末試験 80%、平常点20% (出席率、授業態度) 【後期】 検定結果 80%、ロールプレイ形式試験 20%												
使用テキスト ／教材		ユーザーガイド予約・アマデウス予約クイックガイド (amadeus発行)、教員作成プリント												
関連科目		航空予約システム演習Ⅰ、航空基礎知識												
その他		クイックガイドの見方をマスターすること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。												

シラバス（授業概要）	2025 年度
------------	---------

2025 年度

シラバス（授業概要）											2025 年度						
授業科目名		手話Ⅱ															
学科・コース		国際エアライン科／グランドスタッフコース															
担当教員		田宮裕乃															
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位					
演習		・講義		2		通年		必修		30		1					
授業目的 到達目標		全国手話検定4級合格を目指し、より実践的な手話を習得します。その中で聴覚障害者への配慮についてや、聴覚障害者向けのサービスやについても学びます。															
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド			
アクティブ ラーニング		事前学習型授業				反転授業				調査授業				フィールドワーク			
		双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク				ロールプレイ			
		プレゼンテーション				PBL		○		模擬授業				その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標						
	1～2		手話Ⅰ 復習								① 手話語彙を増やす ② 手話で接客ができる ③ 聴覚障害者への配慮ができる ④ 合理的配慮について理解する ⑤ ろう者との会話にチャレンジする ⑥ ろう文化を学ぶ ⑦ 手話検定4級に合格する						
	3～4		疑問文・時間に関する表現														
	5～6		家族・友達のこと														
	7～8		一日のこと														
	9～10		一週間のこと														
	11～12		一年間のこと														
	13～14		あなたの住む町や故郷のこと														
	15～18		手話検定4級テキストまとめ														
	19～20		合理的配慮（ゲストろう講師）														
	21～22		前期試験														
	23～24		手話検定対策														
	25～26		手話検定試験4級受験														
	27～30		接客手話														
成績評価方法		前期 期末試験50% 小テスト30% 授業態度20% 後期 提出課題50% 小テスト30% 授業態度20%															
使用テキスト／教材		DVDで学ぶ手話の本 手話テキスト（接客用会話）															
関連科目		手話Ⅰ															
その他		※実務経験のある教員が担当する科目である。															

2025 年度

授業科目名		サービス介助															
学科・コース		国際エアライン科／グランドスタッフコース															
担当教員		小澤 恵巳子															
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位					
演習		・講義		2		通年		必修		30		1					
授業目的 到達目標		高齢者や配慮の必要なお客様が広い空港内でスムーズにご利用いただけるよう、サービス介助士の資格を有する教員から気配りやサービス介助の方法を学びます。即戦力となる介助方法の習得を目指します。															
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド			
アクティブ ラーニング		事前学習型授業				反転授業				調査授業		○		フィールドワーク			
		双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ		○	
		プレゼンテーション		○		PBL				模擬授業				その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標						
	1～4		義務化された合理的配慮についての理解								①合理的配慮の目的が理解できる ②航空会社の対応を理解し実践できる ③サービス介助の心と技術が身につく ④車いすの操作と留意点ができる ⑤車いすの介助ができる ⑥高齢者の状況が理解できる ⑦高齢者の介助ができる ⑧視覚障がい者の状況が理解できる ⑨視覚障がい者の介助ができるようになる ⑩聴覚障がい者等の現状が理解できる						
	5～6		航空会社の合理的配慮について 航空会社・サービスの現場での合理的配慮と留意点														
	7～8		ユニバーサルなサービスに関する用語の理解														
	9～12		車いす使用者への介助方法と車いす操作														
	13～14		高齢者の状況理解と介助 前期末試験														
	15～16		高齢者疑似体験														
	17～22		高齢者施設での実習準備と実習														
	23～24		航空会社の車いす対応について														
	25～26		視覚障がい者の状況と介助														
	27～28		聴覚障がい者の状況と介助 介助犬・クロックポジションについて知る														
	29～30		サービス介助まとめ 後期末試験														
成績評価方法		期末試験（実技を含む）50%、出欠席30%、取組姿勢20%															
使用テキスト ／教材		サービス介助オリジナルテキスト/高齢者疑似体験セット															
関連科目		手話Ⅰ															
その他		※実務経験がある教員が担当する科目である。															

授業科目名		GSキャリアデザイン															
学科・コース		国際エアライン科／グランドスタッフコース															
担当教員		中西 裕子・大橋 美穂子・蓬萊 正樹															
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位					
講義		・ 演習		2		通年		必修		60		4					
授業目的 到達目標		航空会社への就職を目指し、必要とされる要素をあらゆる面から学びます。また、航空業界への早期就業を見越し、知識の定着と自分の意見を発する力や、社会人としてのマナーやマインドを強化するとともに、体のメンテナンス方も含め、社会人耐久力を身に付けることを目標とします。															
授業手法		・ 対面		○		・ 遠隔				・ 対面/遠隔				・ オンデマンド			
アクティブ ラーニング		事前学習型授業		○		反転授業				調査授業				フィールドワーク			
		双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ			
		プレゼンテーション		○		PBL				模擬授業				その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標						
	1～4		社会人としてのビジョン								①将来のビジョンを明確化できる ②社会人としての意識を形成する ③社会人としてのマナーを身に付ける ④マインドの切り替えの仕方を体得できる ⑤就職先の企業で必要な知識を体得できる ⑥航空業界の基礎知識をあらゆる面から理解できる ⑦航空業界で働くマインドをセットできる ⑧自分の意見を臆することなく発することができる ⑨自分の体と向き合い、健康な生活を送れる方法を体得できる						
	5～10		航空業界用語①														
	11～16		航空業界用語②														
	17～20		自己表現														
	21～30		体のメンテナンス法（栄養、エクササイズ）														
	31～34		メンタル維持														
	35～46		就職活動スライド作成														
	47～48		就職活動についてのプレゼンテーション														
	49～60		進路別ワーク														
成績評価方法		【前期】 平常点60%、課題20%、出欠席20% 【後期】 プレゼンテーション60%、平常点20%、出欠席20%															
使用テキスト ／教材		旅客実習テキスト、面接テキスト、教員作成プリント															
関連科目		面接対応、SPI対策、TOEICボキャブラリー															
その他		進路別ワークでは、それぞれの就職先、もしくは目指す企業についての研究をします。															

授業科目名		接遇中国語																		
学科・コース		国際エアライン科／グランドスタッフコース																		
担当教員		楊 移苗																		
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位								
講義		・ 演習		2		前期		必修		30		2								
授業目的 到達目標		空港内の基本的な接客会話、アナウンスと突発的なトラブルなどに対応できることを目標とします。																		
授業手法		・ 対面		○		・ 遠隔				・ 対面/遠隔				・ オンデマンド						
アクティブ ラーニング	事前学習型授業						反転授業						調査授業				フィールドワーク			
	双方向アンケート						ペアワーク						グループワーク		○		ロールプレイ		○	
	プレゼンテーション						PBL						模擬授業				その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略										わかる目標・できる目標							
	1～4		空港内接客用単語										①空港接客会話文の意味が理解できる。							
	5～12		空港内接客用会話										②空港内の基本的な接客会話ができる。							
	13～20		空港内接客用アナウンス										③空港内の基本的なアナウンスができる。							
	21～26		スキルコンテスト準備										④演習を通して即戦力を身に付ける。							
	27～30		スキルコンテスト										⑤コンテストを通して達成感を実感できる。							
成績評価方法		スキルコンテスト（50％）、出席率、授業態度（50％）																		
使用テキスト ／教材		講師作成プリント																		
関連科目																				
その他		※実務経験のある教員が担当する科目である。																		